



平成29年3月期 中間年次報告書

自 平成28年4月 1 日
至 平成28年9月30日

アトミクス株式会社



拝啓 平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの平成28年4月1日から平成28年9月30日までの業績を取りまとめましたので、その概況についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成28年12月

代表取締役社長 **神保 敏和**

目 次

- 株主の皆様へ…… 1 頁
- 営業の概況・
通期の見通し…… 2 頁
- 事業の概要…… 3 頁
- 業績の推移…… 4 頁
- 四半期連結
決算報告(要約)… 5 頁
- 会社概要・株式情報… 6 頁

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策の継続などにより緩やかな回復基調が続いているものの、新興国経済の減速懸念や為替変動による影響等により、企業の設備投資や個人消費は力強さを欠いた足踏み状態が続き、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは顧客志向をより徹底し、「お客様のお困りごとを、いち早く解決する製品とサービスを提供する」ことで市場の拡大を目指してきました。また、関連する展示会等に積極的に出展するとともに、媒体を利用したPRにも努めてきました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高48億51百万円（前年同期 50億95百万円）、営業利益1億1百万円（同 61百万円）、経常利益78百万円（同 66百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億26百万円（同 親会社株主に帰属する四半期純損失1億54百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

<塗料販売事業>

道路用塗料においては、官公庁の工事発注量が減少し厳しい状況のなか、引き続き景観材料の売上が順調に推移したことにより前年を上回りました。床用塗料においては、一部で大型の設備投資の動きが開始されたものの、5月、8月の需要期における工場ユーザーの動きが鈍かったため前年を下回りました。建築用塗料・家庭用塗料においては、長雨・台風等の天候不順の影響により前年を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は前年同期と比べて1億97百万円減少し、46億29百万円（前年同期比 4.1%減）となりました。

<施工事業>

子会社で前第1四半期連結累計期間に大型工事の売上計上をした影響により、当第2四半期連結累計期間の施工事業の売上高は前年同期と比べて47百万円減少し、2億21百万円（前年同期比 17.8%減）となりました。

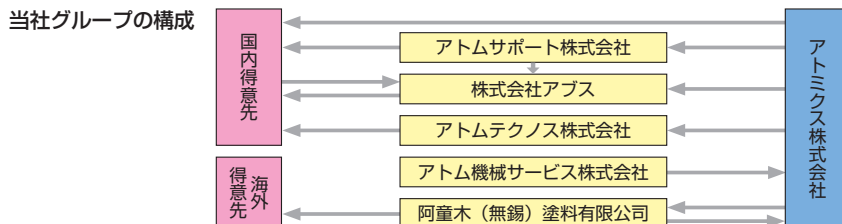
通期の見通し

平成29年3月期の通期業績につきましては、今後も民間の設備投資や官公庁の工事発注が不透明な状況が続くことにより、売上高111億円（前連結会計年度 113億63百万円）、営業利益4億90百万円（同 3億80百万円）、経常利益4億70百万円（同 3億61百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益6億40百万円（同 親会社株主に帰属する当期純損失42百万円）を見込んでいます。

事業の概要

当社グループの概要

当社グループは当社及び国内子会社4社と海外子会社1社で構成し、塗料販売事業と施工事業を行っています。塗料販売事業では道路用塗料、床・屋根・防水などの建築用塗料、家庭用塗料、コンクリート構造物の保護・補修材の製造販売を行っています。このほか、道路用塗料の施工機械の製造販売、交通安全や生活環境のインフラの維持管理に係るソフトウェアの開発と販売、ホームセンターを顧客とする物流業務を行っています。また、施工事業では当社グループで製造した製品を用いた工事の請負を行っています。



※阿童木(無錫)塗料有限公司は、平成27年8月17日付けで解散及び清算の決議をし、現在清算中です。

経営の基本方針

当社グループは、塗料・交通安全の領域において「独創性に溢れた発想」と「高度な複合化技術」によって開発した製品と関連するサービスを提供することにより「安全かつ快適な住環境・屋外環境」を実現し、「生活者との信頼関係」を築くことで「社会に貢献すること」を経営の基本方針としています。

また、塗料販売事業と施工事業において、床用・屋根用・防水用などの建築用塗料、DIY用・ホームケア商品などの家庭用塗料、路面標示材などの道路用塗料と施工機械、これらに関するサービスを提供し、それぞれの分野でナンバーワン、オンリーワンを目指します。

代表的な製品群は次のとおりです。

(1) 路面標示用塗料



水性路面標示用塗料の速乾化工法をはじめ、水性型、溶剤型、溶融型のJIS規格品をはじめとする各種製品で交通安全に貢献しています。

(2) カラー舗装材



歩車道分離や自転車通行帯などカラー化による走行区分で歩行者や自転車の安全に貢献しています。

(3) 床用塗料



工場や倉庫のコンクリート床について、新設から改修まで、幅広い製品と工法でニーズに合わせた快適に働く環境づくりに貢献しています。

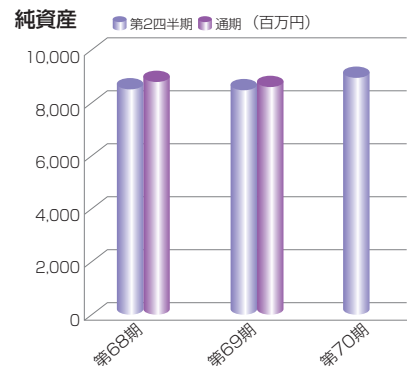
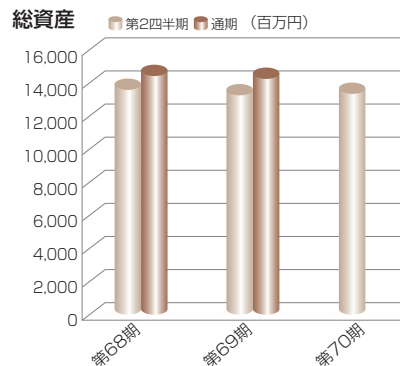
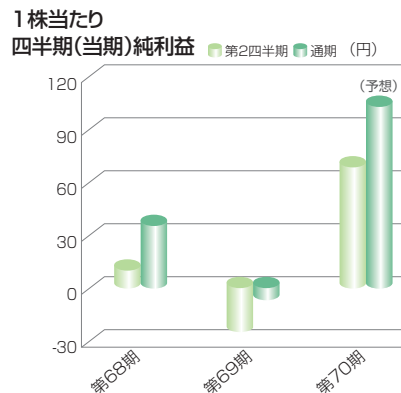
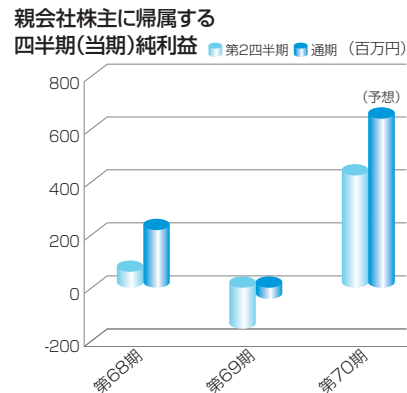
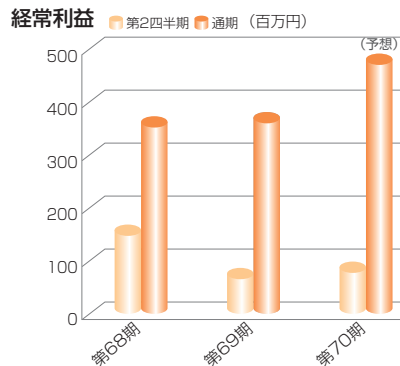
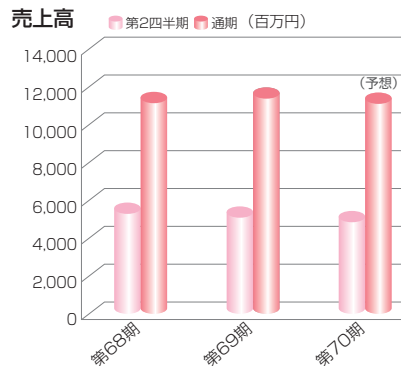
(4) 屋根用塗料



屋根の美化・保護に加えて高耐久性や遮熱性能を付加した製品で快適な生活と働く環境に貢献しています。

業績の推移

当社グループの業績の推移



区 分	第68期 平成27年3月期		第69期 平成28年3月期		第70期 平成29年3月期	
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期(予想)
売上高 (百万円)	5,295	11,142	5,095	11,363	4,851	11,100
経常利益 (百万円)	148	352	66	361	78	470
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益(△は損失) (百万円)	62	219	△154	△42	426	640
1株当たり四半期 (当期)純利益(△は損失) (円)	9.93	35.16	△24.82	△6.87	68.32	102.51
総資産 (百万円)	13,568	14,413	13,226	14,226	13,323	—
純資産 (百万円)	8,504	8,783	8,472	8,590	8,938	—

四半期連結決算報告(要約)



■ 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期末 平成28年3月31日現在	当第2四半期末 平成28年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	8,882,327	7,685,261
固定資産	5,343,738	5,638,112
有形固定資産	4,467,484	4,345,980
無形固定資産	230,069	227,632
投資その他の資産	646,184	1,064,500
資産合計	14,226,066	13,323,374
(負債の部)		
流動負債	4,453,353	3,253,716
固定負債	1,182,113	1,131,325
負債合計	5,635,467	4,385,041
(純資産の部)		
株主資本	8,339,989	8,670,299
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	692,570	692,570
利益剰余金	7,013,199	7,343,327
自己株式	△ 405,780	△ 405,597
その他の包括利益累計額	250,610	268,033
その他有価証券評価差額金	185,176	194,241
為替換算調整勘定	75,430	82,226
退職給付に係る調整累計額	△ 9,996	△ 8,434
純資産合計	8,590,599	8,938,333
負債純資産合計	14,226,066	13,323,374

■ 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日	当第2四半期 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日
売上高	5,095,955	4,851,091
売上原価	3,573,668	3,318,474
売上総利益	1,522,286	1,532,617
販売費及び一般管理費	1,461,175	1,431,025
営業利益	61,111	101,591
営業外収益	11,908	10,841
営業外費用	6,613	33,503
経常利益	66,406	78,929
特別利益	2,595	0
特別損失	167,591	26,458
税金等調整前四半期純利益(△は損失)	△ 98,588	52,471
法人税、住民税及び事業税	32,584	17,096
法人税等調整額	23,769	△ 391,193
四半期純利益(△は損失)	△ 154,942	426,568
親会社株主に帰属する四半期純利益(△は損失)	△ 154,942	426,568
その他の包括利益	△ 59,747	17,423
四半期包括利益	△ 214,690	443,991

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日	当第2四半期 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	197,011	533,237
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 464,917	△ 106,435
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 186,108	△ 186,182
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 6,377	△ 9,291
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 460,392	231,327
現金及び現金同等物の期首残高	2,706,773	2,340,615
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,246,381	2,571,942



1. 会社概要

商号 アトミクス株式会社
 本社 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号
 創業 昭和12年2月
 資本金 10億4,000万円
 従業員数 231名 (従業員数に嘱託社員を含めています。)

2. 主要な事業所及び工場

本社 東京都板橋区
 支店 大阪府大東市
 営業所 札幌・仙台・新潟・横浜・
 名古屋・広島・福岡
 工場 加須・久喜・岡山

3. 役員

代表取締役社長 神保敏和
 取締役副社長 喜多幸一
 取締役 船橋輝男
 江森邦昭
 村岡正己
 花形裕透
 小川博巳
 富士田学
 田中滋子(社外)
 常勤監査役 佐藤亮介
 監査役 上原左多男(社外・独立役員)
 石川伸吾(社外)

4. 株式の状況

発行可能株式総数 30,000,000株
 発行済株式の総数 7,242,000株
 株主数 631名
 大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
西川不動産株式会社	978千株	15.21%
アトミクス取引先持株会	909	14.13
東京中小企業投資育成株式会社	700	10.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	321	4.99
西川正洋	280	4.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口:75715口)	186	2.89
アトミクス社員持株会	169	2.63
東洋テック株式会社	126	1.95
楠本化成株式会社	106	1.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	106	1.64

※持株数については千株未満を、持株比率については小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。また持株比率は株式付与ESOP信託口が保有する186,000株を除いた自己株式(812,614株)を控除して算出しています。

5. 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日(中間配当を実施するとき)
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所・特別口座管理機関
 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同連絡先・送付先
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-232-711(通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所
 証券コード 4625
 公告の方法
 電子公告 URL <https://www.atomix.co.jp>
 (やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞により公告いたします。)

ATOMIX

<https://www.atomix.co.jp>